



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年11月26日 No.204

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

てら お寺に やまぐちけんさいだいきゅう えんぶん じょうふくじ こふん 山口県最大級の円墳 浄福寺古墳

でまえじゅぎょう おとす やまぐちりつかがわしょうがっこう おごおりほうめん む じょうふくじ か がわあかさか
 出前授業で訪れた山口市立嘉川小学校から、小郡方面に向かったところに浄福寺(嘉川赤坂)という
 てら じょうふくじこふん ちよっけいやく たか やく けんかさいだいきゅう えんぶん
 お寺があります。ここには、浄福寺古墳という直径約40m、高さ約5mの県下最大級の円墳がありま
 こふん じだいちゅうき つく こふん とうじ かんたくまえ やまぐちわん めん ばしよ すいそく こふん
 す。古墳時代中期に作られた古墳で、当時は干拓前の山口湾に面した場所であったと推測されます。古墳の
 ひょうめん ぶきいし はにわ はいち こふん すそ ぶぶん えんどうはにわ
 表面は、葺石でおおわれ、埴輪が配置されていたことがうかがえます。古墳の裾の部分から円筒埴輪がみ
 つかっています。古墳の頂は円形で、江戸時代に作られた熊野社のお堂があります。発掘調査が行われて
 いないので、内部の様子は分かっていません。また浄福寺古墳付近にある浄福寺樹林は、嘉川地域の
 げんしょくせい しめ きちよう やまぐちぜんきねんぶつ してい じょうふくじこふんふきん じょうふくじじゆりん か がわちいき
 原植生を示す貴重なもので、山口自然記念物に指定されています。ここでは、なるほどなっとくニュース
 184号で紹介した小郡が自生の北限であるナギの木を見ることができます。 参考文献『山口県史』



浄福寺古墳 (山口市指定文化財<史跡>)



古墳の頂にあるお堂



かがわ きゅうさんようどう かがわいち しゅくばまち やくわり は いま きゅうかいどう おもかげ かん
 嘉川は、旧山陽道の嘉川市として宿場町の役割を果たしていました。今でも旧街道の面影を感じる
 ばしよ えびすしや まえ かがわいち しめ ひょうしき ほんまげんざぶろうけんしょう ひ た
 場所がたくさんあります。恵比寿社の前には、嘉川市を示す標識と本間源三郎顕彰碑が建てられてい
 かがわしゅっしん しょうや ほんまげんざぶろう かがわ のうみん ごうゆうたい げっせい
 ます。嘉川出身の庄屋本間源三郎は、嘉川の農民たちで郷勇隊を結成しました。元治2年(慶応元年1865年)
 おおだ えどう たたか おごおり はやしゆうぞう しよだい しえん めいじじだい
 の大田・絵堂の戦いでは、小郡の林勇蔵(184号参照)とともに、諸隊の支援をしています。明治時代にな
 しょだい かがわむらそんちよう かがわしょうがっこう みょうしょうじ ちようしゅうほん
 ると、初代の嘉川村長になりました。また、嘉川小学校の近くに、明正寺があります。長州藩は、
 たはん だっばんしや あつ かがわろうしだい げっせい とさはんし さなだしろう きんもん へん
 他藩の脱藩者をここに集め、嘉川浪士隊を結成しました。土佐藩士であった真田四郎は、禁門の変に
 ちゅうゆうだいいし さんか こ みょうしょうじ ちゅうとん くんれん あいまま ちいき ひと ごうりゅう
 忠勇隊士として参加しましたが、その後、明正寺に駐屯しています。訓練の合間には地域の人と交流
 も つた みょうしょうじ ほんどう じけつ
 を持っていたと伝わっていますが、のちに明正寺の本堂で自決しています。参考文献『郷土史ふるさと嘉川』『龍馬とその仲間たち』前田秀徳



旧山陽道 嘉川市



本間源三郎顕彰碑



明正寺



山口博物館では、古墳時代の資料を展示しています。ぜひご来館の上ご覧ください。